

特42

460

去

去

17

東京圖書館

三  
二  
冊

三  
號

四  
七  
架

函

音  
樂  
類

和  
書  
門



出 給

御書行方とや。内々

と素心。是の頼る御内子

は申す蝶々女公の梅も頼る例

さるる意おかしらぬ典薬のま

已に素持の今頼るの由あり

作の如く出入り。御書

典薬乃及より特ての蝶と示

とる由心入 田上の心機急

とる由心入 田上の心機急

とる由心入 田上の心機急

とる由心入 田上の心機急

とる由心入 田上の心機急

とる由心入 田上の心機急

上 申上り典薬乃及より特ての蝶と示

物く小蝶乃及より特ての蝶と示

かまへり典薬乃及より特ての蝶と示

女 なる由心入 田上の心機急

とる由心入 田上の心機急

とる由心入 田上の心機急

とる由心入 田上の心機急

女上

かくるれ昔の心痛も  
 らぬまあるひさうら瘰治よ  
 らくあもさすたなきはほ  
 の中に變思ももては核に  
 骨とあしとあ負たくと増志  
 らぬ有核の時乃しはさも  
 急行のらうられ下や下思下し下

そのまに思りつむ下た胸をら  
 しむと海とさる下かあま  
 月清の夜はさも下雲霧はれ  
 ち雲れ心下那下うら頼え御地  
 行の思れそ下不思海やさ  
 どの僧取の深更よみして夜  
 ぞららの骨兼お下思下心下

花やまはるもさけりせとらるる  
 膏ありあつたの ねえ 蜘蛛振舞か  
 福くうりきぬふりよれり  
 安ハ蜘蛛のあつちり て  
 子助のき筋 ねえ 五線とら て  
 昔 昔 昔 昔 昔 昔 昔 昔  
 生 生 生 生 生 生 生 生

接し 接 接 接 接 接 接 接  
 可 可 可 可 可 可 可 可  
 菊 菊 菊 菊 菊 菊 菊 菊  
 昔 昔 昔 昔 昔 昔 昔 昔  
 御 御 御 御 御 御 御 御  
 早 早 早 早 早 早 早 早  
 花 花 花 花 花 花 花 花

まらぬ(は)培(ひ)し(て)ま(ま)る(る)一(い)つ(の)時(とき)  
お(お)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)僧(そう)旅(りょ)  
の(の)ま(ま)り(り)秋(あき)の(の)色(いろ)は(は)ま(ま)る(る)者(もの)は(は)ま(ま)る(る)と  
事(こと)は(は)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)  
の(の)時(とき)は(は)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)  
古(ふる)き(き)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)  
時(とき)は(は)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)

う(う)き(き)一(い)つ(の)時(とき)は(は)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)  
ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)は(は)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)  
う(う)き(き)一(い)つ(の)時(とき)は(は)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)  
の(の)時(とき)は(は)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)  
時(とき)は(は)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)  
ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)は(は)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)  
ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)は(は)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)  
ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)は(は)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)  
ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)は(は)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)  
ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)は(は)ま(ま)り(り)つ(つ)た(た)ま(ま)る(る)ま(ま)る(る)の(の)時(とき)



さう火焰を放ち。水を出し。火の  
魂をいとも壊れ。あやしの岩向の  
陰がうも鬼神乃か。も。又。頭をたけり  
女あまさくま。お。神。ま。う。り。き。し。年  
さつ。古。蛇。の。精。魂。也。程。さ。り。作。障  
さ。あ。さ。と。頼。え。い。に。お。分。り。そ。ま。し。ま。し。ん  
初。命。と。た。さ。ん。し。や。わ。出。時。独。武。志

す。ん。ん。く。て。は。い。も。地。は。信。さ。し。君。と  
鳴。寺。を。天。界。に。剣。の。あ。ら。し。む。か。わ。し  
乃。う。り。ま。さ。し。と。た。さ。ん。し。や。わ。り  
さ。し。無。り。ま。れ。と。蜘蛛。の。精。魂。の  
志。と。練。た。ら。て。お。け。り。あ。く。ま。ら。り  
ま。ま。い。ま。と。り。の。五。秘。と。つ。ら。り。ま。ま。い  
ゆ。と。ま。い。た。ら。り。ま。ま。い。ま。ま。い。ま。ま。い



神國土地の恵と頼に依て去物と申す  
云大執乱をかりて其の多り  
きく長久く其を信じて切を  
く去物乃首打に依りて其  
都に依りて其

右之本者觀世大夫織部  
章句真本令放行畢

正徳六丙申歲弥生

天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都二条通御幸町西江入町

山本長兵衛



明治十六年十月廿九日  
同十七年一月  
翻刻御届  
刺成發兌

翻刻人

京都府平民

本田市次郎

上京區第三千組上白山町廿八番戶

定價金七錢

# 京 都 專 賣 書 林

北村善兵衛  
風月庄左衛門  
石田忠兵衛  
町田與三吉  
佐条總四郎  
細川清助  
辻本九兵衛  
福井孝太郎  
竹岡文助  
福井源次郎

村上勘兵衛  
辻本定次郎  
須磨勘兵衛  
遠藤平左衛門  
大谷仁兵衛  
杉本甚助  
大谷玄之助  
明田嘉七  
笹田弥兵衛  
田中治兵衛

菱澤重兵衛  
内藤彦一  
川勝徳次郎  
今井七良兵衛  
藤井淺次郎  
近藤太十郎  
澤田友五郎  
西村七兵衛  
西村九良左衛門  
永田調兵衛

